

7月例会 『ソーシャル時代における新たなビジネスモデル』

7月26日 於 京都府産業支援センター

(有) 木村技研 木村雅博

今期、ビジネス研鑽委員会では、年間テーマを「必要性と可能性」～ビジネスイノベーションを起こせ～と掲げ、各企業様のビジネス展開に新風を吹き込める事業を目指し活動いたします。



第一回の7月例会では、ソーシャルネットワークの活用こそが需要発掘、潜在顧客の開拓と思惟し、三和メッキ工業 株式会社 清水栄次氏、株式会社 西村金属 西村昭宏氏に、ソーシャルネットワークサービスの活用方法、ソーシャル時代の今後の展望について、ご講演頂きました。

西村昭宏氏は、20年の蓄積された精密チタン加工技術のノウハウを、最新のWeb活用により発信し、顧客を創造されておられます。

また売上が半減する中、「チタン加工」それも微細精密加工であればどこにも負けない。そんな強い意識でホームページの営業に取り組み、以来5年で年商を2.5倍に上げられたことには大変驚きを受けました。



清水栄次氏は、インターネットの重要性を早期に理解され、価格競争に陥ることなく、インパクトの強い「必殺！メッキ職人」というWebサイトを立ち上げ、1年間で国内外約4000人からの問い合わせがあるようです。

「人と同じことをしては先はない」と目標を明確に持ち、今後も新たなツールとして注目されているソーシャルメディアにも積極的に取り組み、勝負したいと語られました。

本例会を終え、ご講演頂いたお二方は共にSNSをツールとして、自社の強みは何か、を再考する中で自社の技術に誇りを持ち、「技術力をきちんと発信すれば必ず伝わる」そんな確信を胸に大成されました。そして、自らの行動を深く追及することで、自社の技術を売り込むことが自らの役割と語られ、何事にも真剣に取り組むことを学びました。最後になりましたが場所をご提供頂きました、財団法人 京都産業 21様には大変お世話



になり、ありがとうございました。